

[公財]いわて産業振興センター広報誌

特集／キラリ輝く★いわての企業

有限会社ガイア

新分野にも挑戦する

”縫う“にこだわる製靴会社

「トヨタ生産方式を学ぶ」参加企業の募集／6

「アパレル産業経営力強化セミナー」の開催／6

「スーパーマーケット・トレードショー2021」／6
パンフレットの作成

「副業・兼業セミナー」の開催／6

「第3回ILCセミナー」の開催／7

「ILC草の根勉強会」の開催／7

「半導体人材育成初級セミナー」の開催／7

「車載イーサネット技術勉強会」の開催／7



ワンフロアですべての作業がおこなわれている



技術の要は“縫う力”

新分野にも挑戦する “縫う”にこだわる製靴会社

一関市／有限会社ガイア

国産生産にこだわる企業を支える製靴の会社

アパレル関連産業は岩手県の基幹産業の一つである。そのほとんどはスポーツウェアやファッション系の洋服の製造。そのなかに異色の製靴の会社がある。平成4年設立の会社、ガイアだ。

「メーカーさんに指導に来ていただいて、教えてもらいながら技術を身につけてきました」と那須野勇社長は回顧する。設立当初は、現在工場主任として屋台骨を支える妻の敏恵さ

んと仕事を求めて東京はもとより九州まで営業に回ったという。製造業の大手はコストダウンを目指し、海外に工場を建てたり委託先を移した時代だ。一方で、国産へのこだわりや、発注数の問題で、国内委託先を探している企業もあった。

そういったニーズに反応し、受注を獲得した。最初は、製造難度の低めのゴルフシューズやサッカーシューズなど頑丈な革靴の製造から始め、技術力を高めた。注文に応えるうちに、主力はファッション系の靴となった。現

在では、10社ほどと取引しており、婦人靴が6割、紳士靴が4割という割合で製造。販売価格は、1万5千～4万円



ブーツのアップパーが間もなく完成

の靴が多い。取引先を尋ねれば、有名ブランドの名もあがり、ここで造られていたのかと驚く。

メーカーに育てられた なんでも対応する技術力が強み

大きな転換はアキレス(株)との取引である。1日200足の製造をできる委託先を探しており、当社に声がかかっ

た。メーカーの指導に応え、婦人靴の勉強をした。その甲斐があって、いまでは、革や布であれば、どんな靴でも期待に応える自信を持つ。「婦人靴を作る会社は専門が多く、他社はそこまで多様なものは作らないだろう」と、那須野社長。なんでも受けるスタンスの同社だが、めずらしくギブアップした商品がある。女性用のグラディ



材料を型で抜く裁断機

エーターという足の甲に何本も平紐が並ぶサンダルだ。通常の靴のパーツの2倍を使用する商品は、製造は可能であったが、納期が短く、お客様にご迷惑をおかけしてしまう可能性があったことから、お断りしたそうだ。

シンプルな靴ほど難しい

ガイアで製造するのは、アッパーと呼ばれる靴の上の部分。靴底の部分はメーカーや他社で製造され、そこに製品を送って合体されるのだという。工場内で目にする加工品は、一目するだけでは、どのような製品になるかイメージできない。



一つひとつミシンで手作業



1 手元が見えるようほとんどのミシンが斜めにセットされている 2 電動ミシンで革に刺繍も可能 3 加工が終わり靴の形が見えてきたアッパーがスタックされていく 4 糸のカラーパリエーションもいろいろ



当社の製造サイクルは1週間であり、納品が済めば次の靴に取り掛かる。服飾品はセールス時期が早いので、ブーツなど冬物は7月頃から、春物の靴は12月中頃から、サンダルは1月頃から製造を開始する。製靴のなかでも、一番難しいのはシンプルなパンプスだ。革を削り、切り口の折込をするだけの加工であるが、粗が目立ちやすい。表の革に対して、裏面を布を貼ってつなぎ目を巻き込むのだが、それが技術力によって差が出てしまう。また、革の削り方一つでも同様である。担当者を変えると、メーカーは敏感にわかるという。

そういった経緯もあり、加工の人員配置には細心の注意を払っている。人によって作業も得手不得手があり、能力を測りながら、従業員の能力を最大限に活用できるような人員配置を常に意識している。また、加工のしやすい環境を整備するために、材料の置場やレイアウトの変革にも積極的に取り組んでいる。従業員は地元採用がほとんどであり、地域経済を支える。

製靴の技術を生かし 新たな分野へ挑戦する

製靴で得た技術を生かし、靴以外

の加工品にも精力的に取り組んでいる。「ほとんどがいわて産業振興センターさんからの紹介だね」と那須野社長は笑う。「ミシンで縫えるものであれば挑戦する」と、アパレル産業支援事業を利用して、新たなマッチング企業のご紹介を受けている。

昨年からは車のシートの製造にも取り組む。「ただし当社の本業は靴。納期などが本業に影響しない仕事に限定しています」と社長は語った。

家族で会社を守り、社員とともに基本の仕事をコツコツこなしながら、これからも新しい分野にもチャレンジをつづけていく。

>> 技術ポイント



靴の仕事以外にも さまざまな製品にも挑戦

靴以外の事例を振り返ると、医療用のコルセットや、アクセサリーの袋、かつては美容系のシザーカバーなども手掛けていた。めずらしいものでは、クレーンでつるす災害用の土砂を入れる袋と取っ手をつくったことがある。

身体で振動を感じながら音楽を聴く車の座席やゲーミングチェアのスピーカーカバー(背もたれにつけるもの)は、型紙から製作する依頼だった。完成した商品は、東京モーターショーに出品された。

跡取りである那須野奏士専務は他社を経て平成21年に入社し、現在は社長に代わりメーカーを回る。いわて産業振興センターが紹介した自動車内装品製造の部分的な仕事も専務が受けて進めている。



電子ミシンでステッチの 模様ができる

靴ならなんでも対応できるという強みを支える一つミシン。プログラミング式電子ミシンを使える所も強み。同じ模様・複雑な模様を連続で出せる。



安全な製品を提供する 金属探知機

ミシン針や金物が紛れ込みの可能性が出たときは金属探知機でチェックして、安心安全!

代表メッセージ



専務取締役
那須野 奏士

>代表プロフィール

一関市出身。一関工業高等専門学校を卒業。12年前に有限会社ガイアに入社。社長と力を合わせ、靴製造業として革に関するすべてを勉強し製作にこそむ。目標は今日よりも明日にむかって良い製品を作ること。

メーカーさんの要望に応じて、一足一足丁寧に妥協をせず、良いものを作るよう努力をしています。社員を守り、地域の雇用を守るために、新しい仕事にも挑戦しています。最近は新しい取引のため、社内の整理整頓を実施。かなり工場内がきれいになりました。我々も含めて、社員の意識も変わったと思います。長年の技術を糧に、世の中に貢献していきたいと考えています。

企業 DATA

会社名 有限会社ガイア
代表者 那須野 勇
業 種 製造業
工 場 岩手県一関市大東町摺沢字礼田91
電 話 0191-75-2235(代表)

治 革 平成4年/会社設立
平成7年/紳士・婦人靴製造開始
平成9年/アキレス協協力工場として契約
令和2年/トヨタ紡織と取引開始

従業員 16名
資本金 300万円

各部事業紹介 事業者様の取り組みをサポートします。

産業支援部

「トヨタ生産方式を学ぶ」参加企業の募集



いかにムダ・ムラ・ムリ無く合理的に造るか、労働強化にならないムダの排除によるものづくりの実現をテーマとして、事業者の皆様が互いの工場を教材とし、それぞれの課題について改善を提案する実践形式の研修会です。来年度は、コロナの影響も考慮し、生産現場のほかりモートでの開催も予定しています。感心のある事業者様からのお問い合わせをお待ちしています。

● お問い合わせ 産業人材育成担当
TEL : 019-631-3824

「アパレル産業経営力強化セミナー」の開催



県内アパレル関連企業における様々な経営課題の解決を支援するため、1月22日に「アパレル産業経営力強化セミナー」を開催しました。IoT活用による生産性向上や生産コストの削減、自社ブランド製品の開発による事業展開について先進的な取り組みを実施している企業の事例を紹介する内容で、45名の方に参加いただきました。今後も課題解決に向け支援を行ってまいります。

● お問い合わせ 生産技術革新担当
TEL : 019-631-3824

「スーパーマーケット・トレードショー2021」パンフレットの作成



令和3年2月17～19日に千葉県の幕張メッセで開催されるスーパーマーケット・トレードショー2021に向け、岩手県ブース出展事業者の商品パンフレットを作成しました。さらに、今年度はより商品の魅力が伝わるよう商品PR動画の作成も進めています。県内事業者の特徴ある商品を全国に展開していくため、引き続き取り組んでまいります。

● お問い合わせ 地域産業・起業支援担当
TEL : 019-631-3823

「副業・兼業セミナー」の開催



令和2年12月8日、「副業・兼業セミナー」を開催しました。企業の課題解決に向け、プロフェッショナル人材に短期間、業務を委託するもので、実際に人材紹介を行う事業者3社を講師に迎え、17名に参加いただきました。全国で利用実績が増加している本事業について、今後も本県での利用を推進してまいります。

● お問い合わせ 岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点
TEL : 019-631-3828

ものづくり振興部

「第3回 ILCセミナー」の開催



当センター事務局を務める「いわて加速器関連産業研究会」が主催する第3回ILC技術セミナーを11月26日にオンラインにより開催しました。セミナーではILC加速器設計の現状や医学・医療分野に於ける加速器利用の動向、IDT-WG発足とILCが期待する企業像について講演を行いました。

● お問い合わせ 産学連携室
TEL : 019-631-3825

「ILC草の根勉強会」の開催



「いわて加速器関連産業研究会」の地域活動の一環として、ILCを契機とした地域デザインのベースを作成することを目的とし1月15日に一関地区で勉強会を開催しました。今後もILCの誘致に向け、地元企業や各支援機関、自治体が連携しながら取り組んでまいります。

● お問い合わせ 産学連携室
TEL : 019-631-3825

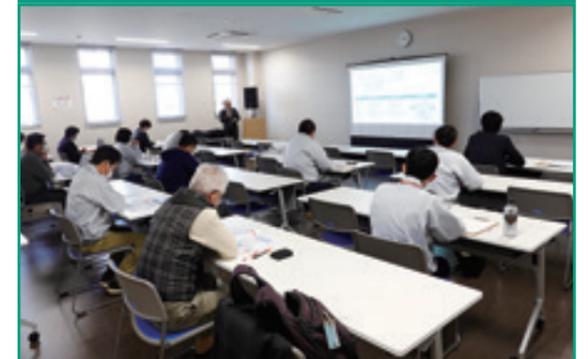
「半導体人材育成初級セミナー」の開催



半導体関連企業の在職者向けに基礎、品質、安全についてを学ぶ初級セミナーを11月24～25日に北上市で開催しました。企業様の人材育成のニーズに基づいたセミナー等を今後も行ってまいります。

● お問い合わせ 取引支援・産業集積担当
TEL : 019-631-3822

「車載イーサネット技術勉強会」の開催



車を取り巻くネットワーク環境の変化に伴い、車載イーサネット技術の概要と今後の展望についての勉強会を盛岡市で開催しました。企業様のニーズに基づいたセミナー等を今後も行ってまいります。

● お問い合わせ 取引支援・産業集積担当
TEL : 019-631-3822

※誌面記載の内容は2月12日時点での情報です。

設備貸与制度のご案内

長期
最長10年

低利
年1.1%~1.6%
(固定金利)

より
使いやすく
金利を
軽減しました

無担保
金融機関融資
と別枠

**連帯保証人
代表者1名**
経営者保証
ガイドラインに
準拠

公益財団法人いわて産業振興センター ● お問い合わせ 設備貸与担当 TEL:019-631-3821 FAX:019-631-3830

センター業務のご紹介

(公財) いわて産業振興センターは、岩手の企業をサポートする公的な総合支援機関です。

- 専門的見地からのプロモート、事業推進を行います。
- 賛助会員の受付、情報提供を行います。
- 設備貸与の貸付を行います。
- 体系的な研修会を通して、人材育成をサポートします。
- 受発注企業間の取引あっせんを無料で行います。
- 自動車及び半導体関連産業創出のため、工程改善指導等の支援を行います。
- 新事業創出、創業、経営革新などの各種相談や支援に応じます。
- 研究開発の総合的なコーディネーターや地域の技術ニーズにこたえる研究開発プロジェクトへの支援を行います。



産業情報 **いわて**

(公財) いわて産業振興センター広報誌

■ 発行/公益財団法人いわて産業振興センター
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-26
(岩手県先端科学技術研究センター1F・2F)
[TEL] 019-631-3820(代) [E-mail] joho@joho-iwate.or.jp
[URL] <http://www.joho-iwate.or.jp/>
■ 発行日/2021年2月19日 ■ 印刷/川口印刷工業株式会社



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。